



平成14年(2002年)

災害拠点病院の役割を担う

～あらゆる災害に備えて～



平成14年(2002)に初の大規模訓練を行った



平成18年(2006)は他県の赤十字病院も参加し訓練を行った



平成20年(2008)には消防と連携し
有害ガス発生を想定した訓練を行った



近年は原子力災害を想定した訓練を行っている

福井赤十字病院は平成10年(1998)1月に災害拠点病院(地域災害医療センター)の指定を受け、災害発生時には多くの傷病者を受け入れる重要な役割を担っています。平時から災害に対応できるよう人材育成に努め、自家発電設備の整備や入院患者・職員の非常食備蓄など災害に備えています。平成14年(2002)から、原子力複合災害や有毒ガス発生などの事態を想定した災害対応訓練を毎年実施し、また、各病棟や外来では、火災などを想定した避難訓練を行っています。

平成14年の出来事

- ・日朝首脳会談が行われ、拉致被害者5名が帰国
- ・学習指導要領の見直しが行われ、完全学校週5日制がスタート
- ・FIFAワールドカップが日韓共催で開催
- ・新しい首相官邸がオープン

